

高木揚心流柔術

① 両腕捕 此の型は坐型で相手よりと差白くに両指先を互

て差す

へ相手方右足立て右手にて我片胸捕に来る

ニ捕らぬ片胸の下襟を我れ左手にて持つて右手

を力て相手腹を打ち右足立てる同時に右手

を力て右胸捕る 手の甲に親指を当てて四

指で下裳を掴み右奥直ぐまうて左足引き右

足大き引いては坐したるに敵の胸にけり込み

押える

此型も坐型 相手方右手にて水月当上り来る

其手を右手にて右方へより手首を持つて左手

相手を襟持つて左足横に出し引いてあを向

けに倒したるに敵の右腕折りを押し込む

眼 一文字 型 肘をの

かたて体

② 明返

我れ左手にて 相手を

手標締めとなる

③ 撥捕

跳込んで 引いて

此型は立技にて相手方前方に進んで行く後

より右手にて相手方の首筋を掴む

ニ相手方後方向かんとす右足にて相手方より

を引いて相手倒す 破心

④ 虚倒

敵右足心金を取

此型は我れ坐す相手方前方より素り右足にて

我が水月を蹴込み来る右腕にて右足より

を引きて左腕にわたり 右手にて相手方足二ぶら

を引きて左腕にわたり 右手にて相手方足二ぶら

敵うのふりに倒れる右足を引いてこぶらを打って

退り破心

⑤ 片胸捕

此型は立技にて相手方片胸を捕る前の坐型と

同じく左手にて我が胸の下襟を掴み

ニ右手を引いて相手方腹を撃ち力てうち同時に

右手を引いて相手方の甲に親指を当て四指にて

平の掌を以て 左足別人のと同時に裸を左平
引いてはなきしめ 左足にて 敵の右足をもちを
踏上げて、つづきは倒し 左平相手の右腕の
付根を以て押へし 右平腕首を以て

両脇捕

立技にて相手方両手にて 両脇捕了此捕方は腕
捕りと同じく右平にて 露打の代り左平にて

逆捕

面部を打つて前と同じく押え込め
相手方前方に進み後より 鼻唇を掛ける相手
向き返る 右平敵の右腕に行しんで同時に

逆排捕

敵の右の手を敵の右腕付根を不かく成し込ん
で 右足にて敵の右足大きく為込込て 敵をあそ
むけに倒し 敵の右腕を送締めめとして押え

逆腕折

立技相手方後より 羽が締めめはたたく捕えり

逆腕折

立技相手方後より 羽が締めめはたたく捕えり

逆違

立技相手方前方より進み来る 我れも進み行
違 左側に立たた時は 相手方の右平首を左平

我れも進み行

違 左側に立たた時は 相手方の右平首を左平

腕首持

敵の右腕首を以て 敵の右平首を以て 腕首持

腕首持

敵の右腕首を以て 敵の右平首を以て 腕首持

腕首持

敵の右腕首を以て 敵の右平首を以て 腕首持

腕首持

敵の右腕首を以て 敵の右平首を以て 腕首持

腕首持

敵の右腕首を以て 敵の右平首を以て 腕首持

腕首持

敵の右腕首を以て 敵の右平首を以て 腕首持

ラシツル

④ 乱勝

立技相手方右拳を面部打ち来る
 左拳も指に(急)右足一步列を腰を落として左腕にて受け
 下から相手を突き 相手方の朝霧を右拳にて押し打つ右
 げま。腹を鬼打ま 足小外の如し 相手方右足外側に掛り込
 の腹をいかに 走のと同時 相手方を振り倒れ朝
 霧を打つ
 立技相手方と相対立す相手方右拳を右拳にて
 我の水月口当込み来る 我は右に倒れ
 敵の手を転じ右拳にて敵の右拳を受け
 其の拳首を持ち一才左足前進 急ぎ
 右手右足引き 右足等す 敵がつかげは
 倒れる 左手敵右腕のひじに掛け押し
 込みと同時に左足先にて敵右脇蹴込
 斗当て入水

⑫ 牽流

⑬ 膝車

立技相手方右拳を面部打ち来る
 左拳も指に(急)右足一步列を腰を落として左腕にて受け
 下から相手を突き 相手方の朝霧を右拳にて押し打つ右
 げま。腹を鬼打ま 足小外の如し 相手方右足外側に掛り込
 の腹をいかに 走のと同時 相手方を振り倒れ朝
 霧を打つ
 立技相手方と相対立す相手方右拳を右拳にて
 我の水月口当込み来る 我は右に倒れ
 敵の手を転じ右拳にて敵の右拳を受け
 其の拳首を持ち一才左足前進 急ぎ
 右手右足引き 右足等す 敵がつかげは
 倒れる 左手敵右腕のひじに掛け押し
 込みと同時に左足先にて敵右脇蹴込
 斗当て入水

足元を蹴るの力を に行き敵右拳にて受け 我は相手方の止めに来

右拳にて押しつつ相手 左右手首を持ち 敵の右側に出る腕を引ま

⑭ 水月

表と同じ立上る時右足水月を蹴込斗当
 裏と同じ牽引にて敵右手道捕りとして敵仰向
 に倒し右足敵右腕蹴込ある
 表と同じ敵右腕の上には左足すねを押し腕
 折る想

⑮ 腕折

⑯ 腕返

⑰ 腕研

⑱ 腕足折

⑳ 腕倒

㉑ 腕投

① 本編 襟

立技相手方と対立先づ左手にて相手方左襟下を以て思ひ右方にて相手方右襟上部を充分に親指中に入らし持つ同阿は左襟引き右方首迄締める 相手方は首を相向け充分の心構をする 急ぎの遠くなる迄心構する事があるが首かためと首締める方とを研究する事

④ 逆締

立技前と同じく左手にて相手方左襟下を持つて右手親指襟外にして四指を咽喉当り押す 左手引く逆締だから心構より難し

⑤ 腕締

立技相手方右手にて腕が片腕捕る 袂捕らば相手方の右手首を左手にて掴み同時に左手相手方右腕の首より廻し我が左襟上を持つて右足相手方右足外より掛けて我よりつ向けに倒れる 敵あをゆりし倒れ 敵

②① 一揃締

の右腕首を持つて左手は充分下に押え頭部の方へ押え寄る 腕折れる 痛引とはさる

②② 痛締

立技相手方と対立右手にて相手方左襟上を捕って一度半元引く相手方引かれまいとする 勿心ち甘き反動で右側より後ろに廻り左手にて相手方左肩先を掴み後方に両手共引き 襟締める 充分頭を背に付けろべし

②③ 押締

立技前と同じく両手相手方両襟上を捕る 両手親指先にて相手方龍肉を下に押し 締める 龍肉は両肩凹の所也

②④ 逆押締

前と同じく両手母指先にて両戸上をとり締め

④ 坐 拵

坐する（リ）は腰上部及びの真下）
 相手方坐す前より相手の左肩先一寸持つて
 引き込込み右側より廻り三角締めにする



⑤ 片 胸 捕

型

立技相手方射立相手は我襟片胸を右手にて
 捕る我は静かに転く相手方の右手甲上に左
 手置く相手は左手にて我が右手袖を掴まを
 左手出す勿心で一步右足引いて勿心で左手にて
 敵右手逆捕りとす同時に左足引いて坐す
 相手方あを向けに腕逆となつて倒れる我は
 立技相手も我が両胸を捕る両手軽く相手方の
 両手の上に置く柔合諸共右足すおにて下段に
 当て同時に相手方左手逆捕りにして前を
 同じく投げ

⑥ 両 胸 捕

⑦ 鬼 碎

相手方と射立相手方右手にて我の面部に打
 ち来る右足一步引立腰を落し左腕にして
 受け右手敵の右手下より廻り球を左手捕え
 敵腕逆にて左外の如く右足振りし做す

⑧ 魚 碎 の 免

② 背負投
③ 腕投
④ 腕投



⑤ 逆手投

前と同じく大体の代りに踵入せし背負投げ
相手方左手にて我が片胸捕り右手拳にて
打たんとす。先づ我が相手方胸持し左手
中関節の所を相手方腕を上げて右足引いて
左手にて相手方右拳受け同時に体を
一寸落して右腕入水投げ相手方左腕と都
に押し上げらるる急め我が首より後ろに出
る故腕逆とはなしてをまかに投げけらるる。
相手方右手我が片胸捕る。我れ左腕の如く
右拳掌軽く相手方拳の上を置き惣さ左
手刀にて相手方の左腕を打ち同時に右手に
て敵の左手逆捕り右足引いて生ずる敵
うむけ倒れる。左足敵の腕の上を右を寄せ
き腕折りしす。
相手方右手にて片胸を捕る。我れ左手にて

新リ

⑥ 鬼巾投

⑦ 鬼巾投
⑧ 鬼巾投
⑨ 鬼巾投

く逆掴みしこ上にあがる敵の右拳首竹折力
となる左手は敵の右腕根を掴み右腕
入水投げどり右腕根を掴み右腕根を掴み
相手方我が両胸を捕る我れ両手にて敵の両腕
を掴み母指関節にて腕根を押し当て一寸
押しこむのと右腕入水ると同時腕投げ
す。

相手方左手にて我が片胸を捕る。我れ右手にて
逆手投げの如く竹折りにし敵の左腕下
をくぐる時左手にて敵腕下相手を倒す。
敵はあを向き倒れる。左手腕根を捕る時肘で敵の
相手方左手我が片胸を捕る。我れ右手相手方の胸
持し拳の爪を相手方其爪に両手掛け左廻り
は一度し惣さ其手を肩にかついで投げる。
二度財をくたさ。

腰斬 九の型

互技相手方左前帯右後腰帯を掴んですむに腰投げせんとす 我水左手相手を後帯を掴み 右手敵の首に打ち込み 我水より進んで相手を前に横身捨身にしていし 右手は相手を左足すぬを押し進める

30 ツギ

敵前に巴形に倒れる 立技互方共に右手肩を掴み 左手前帯を掴む 相手を引く三歩 我れより引かせ入りて最後は一歩を左足敵の内股にかみ込んで 右足相手を左

31 ツギ

足も毛に掛ける也 立技相手方我が両袖捕りに来る 我れ敵の首帯を左手にて捕り 右手にて敵左肩捕りて右足進め押すと同時に左足敵の股に流すのと右足敵左足も毛に掛けるのと同時に巴投げ 相手方後より我が頭のをを掴む 我れ相手を

32 ツギ

平衛に敵の右手首を掴み 腰帯を落して左足引き後る 向き形となり 右手拳にて打たんと構へる 敵は後三歩退る 忽ち右足敵左側迄 飛込るとす 右拳拳敵の面打ちて横を投げとす 立技相手方腰投げ入込む 我れ相手を方の水月には右拳打込み 直ちに右手にて相手を左肩先を掴み 左手敵の後腰帯を掴み 左

33 ツギ

足相手を前より敵の左へ流す 同時に右引く横身へ投げ 敵は横身向けに倒る 立技相手方両胸捕りに来る 我れ敵の両肩を左右の手足で握り 忽ち敵の左足横に両足

34 ツギ

流し込む敵へ投げの如く柳向けに倒る 立技相手方も両胸捕りに来る 我れ左手にて敵の左襟帯より右手にて敵右襟帯を掴んで 左襟

35 ツギ

返

両手掛

刃を 右手突き進み襟締にして左足も刀の後に
右手掛けては巴投中
立技相手方両腕を捕る 我れ相手方両腕の中
由り即ち（星）四の形の上は母指入れし相手方一寸押し
忽ち右足 敵左足をもに掛けては巴投中

水流

立技相手方我が両腕を捕る 我れ相手方右の両
腕を相んで忽ち相手方股の中は左足を流し
込み同時に右足は相手方左側に流し込んで

柳葉

両肩引く巴返し
立枝 相手方両腕を捕る 我れ右半相手方の左
肩深く相んで左手は相手方右腕付根を相手
左足 敵の右足をもに掛けて右足は相手方の両
股間に流し込み横に流し投中

越後崩

立枝 相手方両腕を捕る 我れ相手方両手中
両肘肘を持て上方に押し上げ引くのと同

鳩

時に 我が前頭部にて相手方の顔面にうら付
け 忽ち両足相手方両股の間に流し込んで巴
投中

飄墜

立枝 相手方横より腰投げに来る 我れ相手方の
左肩を右手にて相んで左手は相手方の右前
帯を相んで両足相手方の左側に流し込んで
投げ 相手方は 我れ体の上から横投げに倒れ
る 我れ水付いしにて相手方の上になり襟締め
立枝 相手方我が両腕を捕る 我れ相手方両肩
を相んで右足を左足をもに掛けては巴投中にして

葛搦

ついで 転過して敵の馬のりと成って襟締の
立枝 相手方両腕を捕る 我れ両手にて相手方両腕
を相み一寸押し 忽ち両足敵の右側に流し
込んで横に投中 ついで馬集りと成って襟